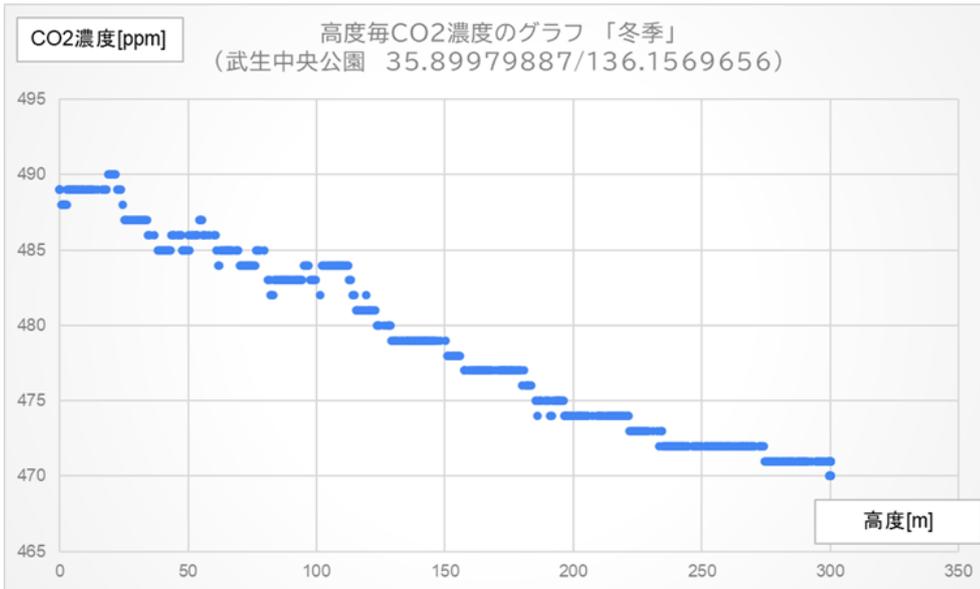




地球温暖化時代の環境配慮型土地利用を検討するための CO2 濃度・質量の算定に関する研究



(左) 高度毎 CO2 濃度分布 (越前市武生中央公園)

(右) 使用した CO2 観測機器 (白色) を搭載したドローン (越前たけふ駅周辺農地)

地球温暖化時代の環境配慮型土地利用を検討するために、下川研究室の学生たちが自作の観測機器を搭載したドローンを用いて、大気中のCO₂濃度の測定調査を行いました。調査は越前市の人口密度の高い武生中央公園と人口密度の低い越前たけふ駅周辺農地の2ヶ所で行われました。高度0～300mまでを20分間かけて垂直飛行し、冬期のCO₂濃度分布状況の把握に成功しました。

研究に取り組む増田空河君と若槻翔馬君は、「この調査を続けることで、実際のCO₂のメカニズムが分かるようになります。これによって具体的な低炭素のまちづくり目標を設定できるようになるので、地球温暖化対策に大きく貢献できる」と言っています。

文責 下川 勇

【連絡先】

福井工業大学 まちづくりデザインセンター

Tel : 0776-29-2661 E-mail : machi-design@fukui-ut.ac.jp

